

2019年 Advanced Hands-on “Rhinology” manual (30分)

鼻の基本解剖と、内視鏡や鉗子の取り扱いを学びましょう！

まず自分の所属校と名前を講師の先生に伝えてください。

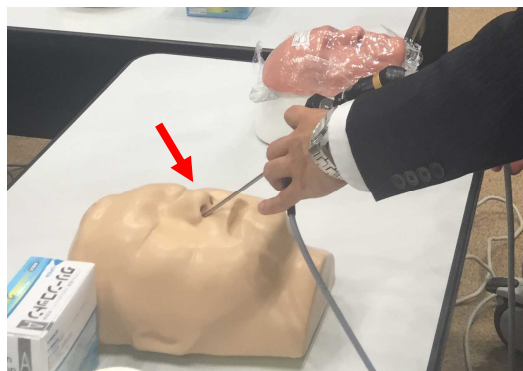
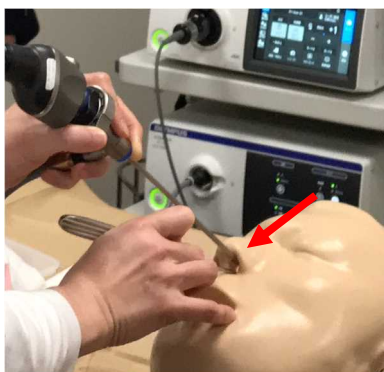
I. 硬性鼻内視鏡の取り扱い：5～6分

0° 内視鏡は鼻孔の上方に固定をして下方に器械を挿入する space を確保

70° 斜視鏡は鼻孔の下方に固定をして上方に space を確保

【0° 内視鏡の位置】

【70° 斜視鏡の位置】



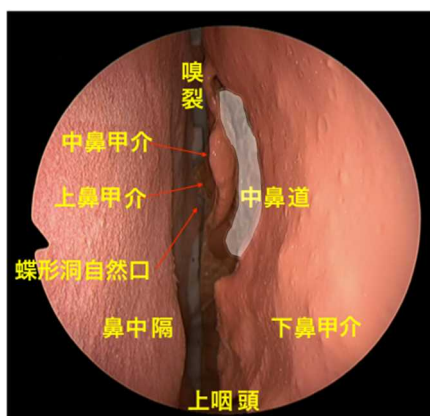
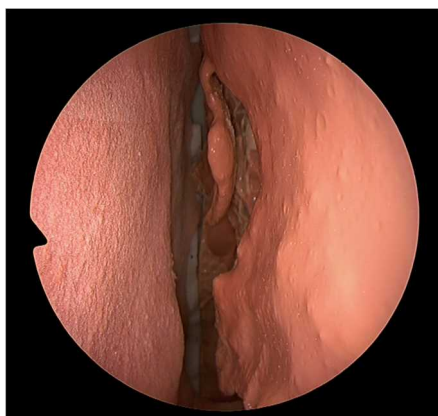
II. 硬性鼻内視鏡による観察：7～8分

内視鏡を挿入して以下の解剖学的に重要な部位を同定して鑷子で触れてみよう！

*産総研模型を使用

- ①下・中・上鼻甲介を観察し、鑷子で触れる。
- ②中鼻道（鈎状突起・篩骨胞）を観察し、鑷子で触れる。
- ③上鼻道および嗅裂方向の観察をし、鑷子で触れる。
- ④蝶形骨洞自然口の観察をし、鑷子で触れる。
- ⑤上咽頭の角度の観察をし、鑷子を挿入する。
- ⑥70° で上顎洞自然口周囲を観察する。

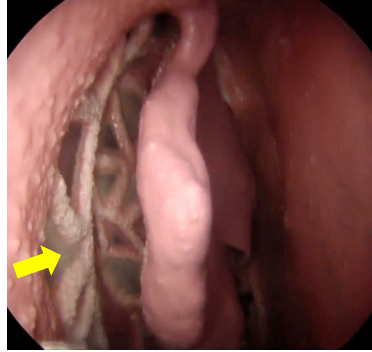
例：左鼻腔（使用モデルの内視鏡所見）



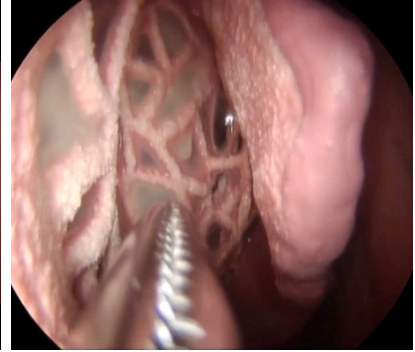
例：右鼻腔



右鉤状突起

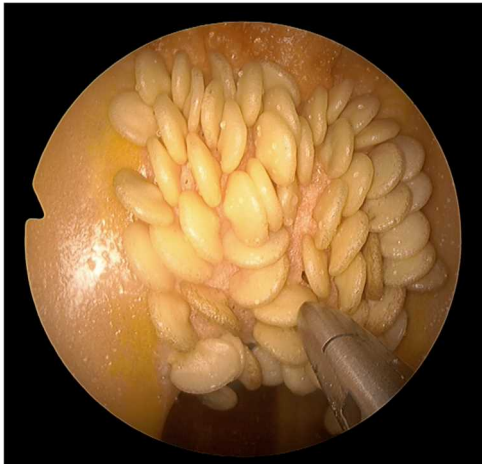


右篩骨胞



Ⅲ. 硬性鼻内視鏡下の鉗子操作：7～8分

パプリカ内に鼻内視鏡（0°）を挿入し、直の鋭匙鉗子で種を取ってみよう！
また、直の截除鉗子を用いてパプリカ内の中隔を切除してみよう！



Ⅳ. 斜視鏡下の鉗子操作：7～8分

パプリカ内に斜視鏡（70°）を挿入し、弱弯と強弯の鋭匙鉗子で種を取ってみよう！
また、弱弯と強弯の截除鉗子を用いてパプリカ内の中隔を切除してみよう！

時間が来たら修了証に講師のサインもらい、次へ移動してください。